

日本メーカー初、富士通コンポーネントの特定小電力無線モジュールが

LoRaWAN AS923 認証取得

2017 年 12 月 11 日

富士通コンポーネント株式会社

富士通コンポーネント株式会社(本社:東京都品川区、社長:近藤 博昭)の LoRaWAN 対応特定小電力無線モジュール FWM7SLZ02A が、日本メーカーとして初めてとなる LoRaWAN AS923 認証を取得しました。

LoRaWAN は、LPWAN(Low Power Wide Area Network)と呼ばれる広範囲をカバーする低電力無線通信規格の代表的な規格のひとつです。LoRaWAN 技術仕様の作成/公開元である LoRa Alliance から各国向けに認証プログラムがリリースされていますが、AS923(正式名称:LoRaWAN V1.0.2 for AS923MHz ISM Band)は、日本を含むアジア 11 か国を対象としたものです。

当社の特定小電力無線モジュール FWM7SLZ02A は、今般、日本メーカー初となる LoRaWAN AS923 認証を取得し、LoRaWAN Alliance の要求する品質を満たした製品であることの保証を受けました。

なお、無線通信機能が搭載されたデバイスの使用・販売にあたっては、各国の電波法規に関する認証を併せて取得する必要があります。FWM7SLZ02A は、日本の工事設計認証を取得しておりますので、日本国内における LoRaWAN 対応無線機器に今すぐお使いいただけます。

急成長する IoT のフロントエンドデバイスとして、広範囲の情報を利用するさまざまな機器に搭載してご利用いただける製品です。日本メーカーならではのきめ細やかなサポートで、形状、アンテナ特性、機能など各種カスタマイズにも対応しています。

■ 関連情報

プレスリリース:[IoT 機器向け LoRaWAN 対応特定小電力無線モジュール発売およびカスタムユニット製品のご案内](#)

■ 主な仕様

項目		仕様
品名		FUJITSU Component 無線モジュール
形格		FWM7SLZ02A
適用技術基準		LoRaWAN
通信クラス		LoRaWAN Class A
送信出力レベル		0~+13dBm (切替可能)
消費電流	Tx	35mA (typ.)

富士通コンポーネント株式会社

	Rx	15mA (typ.)
	Sleep	7 μ A (typ.)
伝送レート	LoRa	最大 11K bps
	FSK	最大 50Kbps
ホストインターフェース		UART
アンテナ		内蔵(外付け切替可能)
電源電圧		3.3VDC 単一電源
外形寸法		22(D)×50(W)×4(H) mm
取得認証		LoRaWAN 認証 工事設計認証(番号 001-A11875)

※本製品は日本国内専用の製品です。

【添付写真】



FWM7SLZ02A

【お問合せ先】

富士通コンポーネント株式会社
マーケティング統括部マーコム部
電話: 03-3450-1655(直通)
Fax: 03-3437-2385
e-mail: fcl-contact@cs.jp.fujitsu.com

【参考資料】

富士通コンポーネント株式会社
本社: 東京都品川区東品川 4-12-4 品川シーサイドパークタワー 〒140-8586
資本金: 67 億 64 百万円(平成 29 年 3 月 31 日現在)
代表取締役社長: 近藤 博昭
事業内容: リレー、コネクタ、サーバコンソールスイッチ、タッチパネル、サーマルプリンタ、キーボード、無線モジュール、モデムなどの開発、設計、製造、販売
URL: <http://www.fujitsu.com/jp/fcl/>